

目標達成計画

事業所名 グループホームはちぶせの里やぶ

作成日:平成 23 年 1 月 13 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	利用者の個々の希望に沿った外出の支援が出来ていない状況にある。	個々の外出の希望を把握し職員を中心にご家族や地域のボランティアの協力を得てエリアの拡大等に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・外出の希望を個別に把握する機会を持つ。 ・希望の外出の実現に向けて計画を立て実施する。 ・職員間の連携を図り、ご家族、地域のボランティアの協力を得る。 	6 カ月
2	3	事業所が地域に向けて認知症の理解を深めてもらえる機会が持てていない。	地域の一員として地域に根付き暮らしていけるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民の方が気軽に訪問して頂けるよう定期的に広報を配布し事業の内容について発信し浸透を図る。 ・近隣の中学生との交流を継続する。 ・地域の行事への参加、公民館活動への参加を積極的に行う。 ・ボランティアの受け入れを広げていく。 ・地域の方の協力を依頼し防災訓練を定期的実施していく。 	6 カ月
3	5	人権の尊重を基本としてケアを行っているがプライバシーや自尊心を傷つけてしまう対応をする場面があり職員全員が同一の認識を持ち接することが出来ていない。	入居者の人格を尊厳し身体拘束しないケアの統一を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束の内容を理解できるような、勉強会を定期的開催する。 ・職員の知識、技術を把握し、個々に合った法人内外への研修の受講の機会を確保する。 	6 カ月
4	37	入居者個々の能力の把握が不十分で一部の職員の中には業務優先となり生活の中で役割づくりや自尊心の向上が図れていない。	自己決定のできる支援ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活の中で入居者の話をじっくり傾聴する機会を持つ。 ・入居者の「できること」「できそうな事」を見極め、役割として行えるように見守りながら支援する。 	6 カ月
5	54	居室が殺風景であり日常の生活感のある居心地の良い環境作りができていない。	プライバシーが守られ、居心地のよい居室環境を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・馴染みのある家具・調度品を家族様に依頼し持参して頂く。 ・家族様、入居者様との楽しい思い出の写真などを飾る。 	6 カ月